

# 第46期 報告書

2014年4月1日～2015年3月31日

SAISON  
INFORMATION  
SYSTEMS  
CO.,LTD.

株式会社 セゾン情報システムズ

証券コード：9640

ITで未来を創る  
～私たちの挑戦～



株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素より当社の経営に多大なるご協力とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第46期(2014年4月1日～2015年3月31日)の業績と第47期(2015年4月1日～2016年3月31日)の経営方針と取り組みについてご報告申し上げます。

2015年6月

代表取締役社長 **宮野 隆**

### ●当期の業績の総括と評価をお聞かせください。

国内景気が緩やかながらも回復基調で推移したなか、情報サービス業においても、従来延期・縮小されていたシステム開発が堅調に推移するなど、業界全体は回復傾向にあります。

こうした経営環境にあって、当社は、次なる飛躍を目指し、中期経営計画「布石を成果に～成長は挑戦の先に～」をスタートさせましたが、成果については事業毎に明暗が分かれ、全社の業績として大変厳しい1年となりました。

HULFT(ハルフト)事業は、保守販売が好調に推移したことや、子会社のアプレッソ社とのシナジー効果により、売上高・利益ともに計画通りに着実に拡大しています。また、流通サービスシステム事業は、新規顧客向け開発案件が増加したほか、損益構造の改善も進展し、収益性を高めることができました。

一方で、金融システム事業で進めている大型システム開発案件では、想定外の不具合および技術的課題が発生しました。当社が対応すべきと判断したシステム改修・追加開発等の製品保証対応コスト7,554百万円を計上したことで、大きな営業損失を計上するに至りました。

また、BPO事業で開発を進めてきた次世代の人事・給与業務システムの開発遅延により、今後の対応を含め事業方針の見直しを行い、一部事業用資産1,034百万円の減損処理を実施しました。

この結果、連結業績は、売上高30,485百万円、営業損失4,123百万円、当期純損失4,707百万円となりました。

2015年3月期は、創業以来となる大きな損失を計上することとなり、期末の配当金につきましても0円(年間の配当金は1株あたり10円)とさせていただきます。株主の皆様には、ご心配・ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

●中期経営計画の重点施策における成果と課題、今後、注力すべき取り組みをどのようにお考えですか。

事業基盤の拡充

競争力の強化

2つの重点施策「事業基盤の拡充」「競争力の強化」については、「HULFT（ハルフト）\*」をはじめとするパッケージ製品の海外展開、事業拡大を加速する新製品開発、ストックビジネスの拡大といったテーマにおいて、着実な成果を出すことができていると認識しています。

「HULFT」は、日本国内マーケット約8割のトップシェアを堅持し、世界シェアも第4位であり、すでに世界40カ国で日系企業向けに導入実績を積み上げています。海外進出するお客様のニーズの高まりに応え、ASEANを中心としたグローバル展開を実現するため、本年4月より営業を開始したHULFT Pte. Ltd.（シンガポール）において、パートナー開拓・育成を通じたサポート体制の確立、マーケティング強化を進め、本格販売に向けて着実に体制を整えていきます。

また、子会社の世存情報技術（上海）有限公司による中国市場向け「海度（ハイドゥ）」も販売が増加し、通年黒字化を果たすなど、今後の展開が楽しみな状況になってきています。

新製品としては、「HULFT8」を2014年12月にリリースしました。さらに周辺サービスの拡充も進めており、今年12月には4つのサービスで新バージョンを一斉リリースする計画です。

国内でのさらなる拡販、ASEANマーケットへの本格進出、中国マーケットでの販売拡大、北米進出の準備を通じてグローバル展開を一層加速させ、さらなるシェア拡大を目指します。

中期経営ビジョン

布石を成果に  
～成長は挑戦の先に～

これまで取り組んできた施策を成果として花開かせ、これからの成長に向け更なる布石を打つことで、継続的に成長できる企業となるべく、これまで以上に挑戦していく

中期経営方針／中期重点施策

これまでの布石を確実に成果にし、  
これからの成長に向け更なる布石を打つ

事業基盤の  
拡充

競争力の  
強化

人材の育成  
と確保



\* P.13の用語解説をご覧ください。

## ▶ トップインタビュー

流通小売業向け新製品「STORES（ストアーズ）\*クラウド」の開発も着実に進め、今夏のリリースを目指しているほか、EDI製品でも、流通業・サービス業のみならず、製造業でも使い易いサービスへとバージョンアップを図り、対象となる業種・業態を拡大しながら、取り扱いを拡大していきたいと考えています。

一方、大型システム案件のシステム改修の要因となった技術力・開発力の強化が最重要課題であると考えています。これほどの大型案件への取り組みは、1から大型システムを構築する新たなステージへ向かうためのチャレンジでしたが、結果として、500人を超える規模のプロジェクトを遂行する能力が不足していたことが露呈する結果となりました。

この現実を真摯に受け止め、プロジェクトモニタリング、レビューの仕組みを刷新するほか、開発メソッド体系の再整備を実施し、リスクマネジメント力を強化していきます。人材面では、ベーススキル等の技術力・開発力向上のための教育を強化するとともに、経験者の採用に一層注力していきます。さらに、組織として機能するため、全社横断の組織力強化のためのプロジェクトの推進、品質管理部門の体制再構築を図り、大型システム案件の完遂と確実な技術品質の向上を実現させていきます。

### 人材の育成と確保

「人材の育成と確保」についても、経験者の採用が順調に推移し、2015年3月期は55名の新しい仲間を迎え入れることができました。セキュリティ対策、ビッグデータ活用、マイナンバー制の導入など新たな需要拡大、市場活況が予想されるなかで、この規模感で採用が進んだことは非常に価値ある成果であると認識しています。

### ●2016年3月期に注力する取り組みと株主の皆様へメッセージをお願いします。

新年度は「変革・実行・成長」をスローガンに、それぞれの事業の状態に合わせた取り組みを実行させていきたいと考えています。



### 変革

大きな「変革」を意図して、この4月より金融システム事業と流通サービスシステム事業2つの事業を、カードシステム事業とエンタープライズ・ソリューション事業に再編しました。カードシステム事業は、既存顧客大

型システム開発完遂に向けての専門組織とし、保険・証券などの金融領域は、従来の流通サービス事業とあわせて、エンタープライズ・ソリューション事業へ移行させました。カードシステム事業以外のリソースを集約し、機動的に人材を活用できる体制とすることで、新規案件開拓と生産性向上、収益力強化を図るほか、独自ソリューションを含め、新規商材の開発・展開を積極化し、技術力・開発力に変革を起こしていきます。

## 実行

「実行」は対応中の大型システム開発および重点施策を確実に実行することであり、必ずや成し遂げていきます。

## 成長

そして「成長」では、拡大基調にある事業の成長をさらに加速させるとともに、社員教育および会社全体での認識共有を強化することで、全社員が同じ目標に向かって、新しいことにチャレンジする風土をより浸透させながら、全社の成長を推進していきます。

なお、現在の中期経営計画3年目にあたる次年度（2017年3月期）の計画については事業や環境の変化に鑑み、現計画を見直し、次年度を初年度とする新中期経営計画（2017年3月期～2019年3月期）を策定することを予定しています。株主の皆様におかれましては、引き続き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

～ 各セグメント別の施策の実行を全社一丸となって取り組んでまいります ～

カードシステム事業	既存顧客大型システム開発案件の完遂に注力します。
エンタープライズ・ソリューション事業	既存顧客との取引深耕を推進し、顧客ニーズにマッチした幅広い業種の新規顧客獲得によるストック型ビジネスを創出します。高品質なデータセンタービジネス拡大や新製品展開によりソリューションビジネスを推進していきます。
BPO事業	給与計算サービスにおける生産性向上活動を継続していきます。
HULFT事業	国内および海外マーケットシェアの拡大に注力するとともに、ファイル転送およびデータ連携市場におけるポジションをより強固なものにしていきます。

## 第47期連結業績予想（通期）

（百万円）

売上高	29,700
営業利益	3,180
経常利益	3,190
当期純利益	2,080

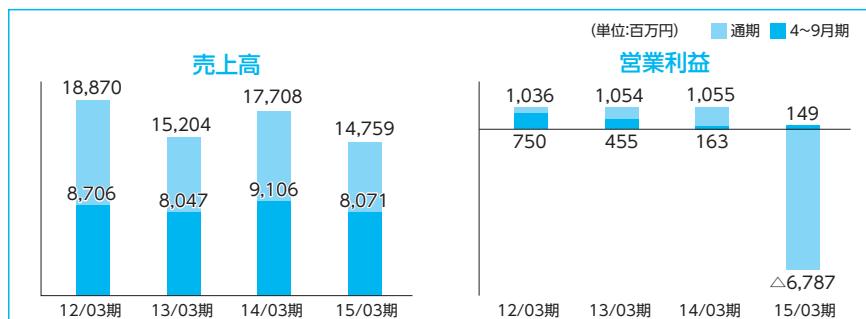
## ▶ セグメント別財務状況

セゾン情報システムズが展開している4つの事業\* (金融システム、流通サービスシステム、BPO、HULFT)の当期の実績についてお知らせします。

\* 2016年3月期からの事業区分については、P.9の事業紹介に記載しています。

### 金融システム事業

売上高**147億円**  
(前年同期比 $\Delta$ 16.7%)  
営業利益 $\Delta$ **67.8億円**  
(前年同期は10億円)



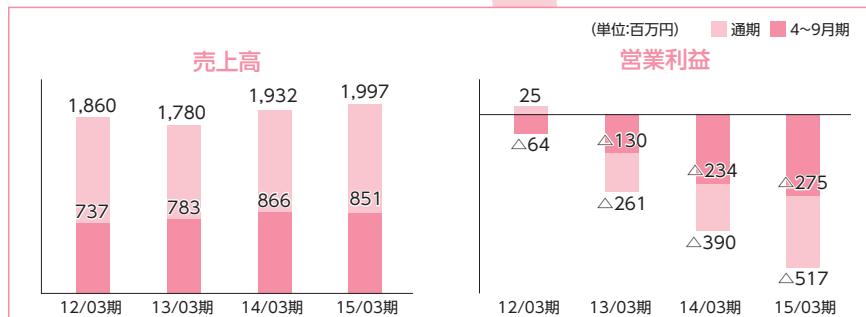
- ・「SAISOS (サイソス)\*」等の拡大により既存顧客向けの情報処理サービスが堅調に推移したものの、既存顧客向けのシステム開発が減少したこと等により売上は減少しました。
- ・大型システム開発に係る製品保証対応として原価を計上したことにより営業損失となりました。

全社

売上高**304億円**  
(前年同期比 $\Delta$ 6.2%)

### BPO事業

売上高**19億円**  
(前年同期比+3.4%)  
営業利益 $\Delta$ **5.1億円**  
(前年同期は $\Delta$ 3.9億円)



- ・新規顧客向けシステム開発案件が順調に推移したこと等により売上は増加しました。
- ・次世代の人事・給与業務システムの開発に係るコスト増加により営業損失は拡大しました。
- ・上記の一部事業資産について、開発計画の見直しに伴い減損処理を実施し、特別損失を計上しております。

\* P.13の用語解説をご覧ください。

※掲載されている4つのセグメントの合算額と全社の業績値は、別途「その他事業」「調整額」があるため一致いたしません。  
 ※2015年3月期より売上計上基準を変更しており、2014年3月期実績については遡及処理後の数値を記載しています。



### 流通サービスシステム事業

**売上高49億円**  
 (前年同期比+9.2%)  
**営業利益 1.9億円**  
 (前年同期は△0.07億円)

合計  
**営業利益△41億円**  
 (前年同期は33億円)

- ・既存顧客向けの情報処理サービスは若干減少したものの、新規顧客向けのシステム開発が順調に推移したこと等により、売上は増加しました。
- ・情報処理サービスにおいて原価構造見直し等の収益性向上に努めたこと等により、営業利益は増加しました。



### HULFT事業

**売上高70億円**  
 (前年同期比+6.0%)  
**営業利益 28.7億円**  
 (前年同期比+8.1%)

- ・「HULFT (ハルフト)」の累計出荷数は、約173,000本となり、導入社数は8,100社を超えました。
- ・「HULFT」及び関連製品の販売が堅調に推移するとともに、(株)アプレッソとの協業によるシナジー拡大、世存情報技術(上海)有限公司の「海度(ハイドウ)」の販売増加等により、売上は増加しました。
- ・収益性の高い製品販売及び保守販売が堅調に推移したこと等により、営業利益は増加しました。

※2015年3月期より売上計上基準を変更しており、2014年3月期実績については遡及処理後の数値を記載しています。

## ■ 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期末 (2015年3月31日現在)	前期末 (2014年3月31日現在)
流動資産	15,492	16,149
固定資産	10,146	10,446
<b>資産合計</b>	<b>25,638</b>	<b>26,595</b>
流動負債	12,355	7,540
固定負債	1,984	2,472
<b>負債合計</b>	<b>14,339</b>	<b>10,013</b>
<b>純資産合計</b>	<b>11,299</b>	<b>16,582</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>25,638</b>	<b>26,595</b>

### 【連結貸借対照表のポイント】

- ・製品保証引当金および当期純損失の計上等により、負債が増加しました。
- ・当期純損失の計上により純資産が減少しました。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 (2015年3月31日～)	前期 (2014年3月31日～)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,216	4,335
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,149	△1,256
財務活動によるキャッシュ・フロー	△989	△1,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	7	5
現金及び現金同等物の増減額	△1,915	2,061
現金及び現金同等物の期首残高	9,550	7,489
現金及び現金同等物の期末残高	7,634	9,550

## ■ 連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 (2014年4月1日～ 2015年3月31日)	前期 (2013年4月1日～ 2014年3月31日)
<b>売上高</b>	<b>30,485</b>	<b>32,500</b>
売上原価	29,969	24,820
売上総利益	515	7,680
販売費及び一般管理費	4,639	4,345
<b>営業利益又は営業損失 (△)</b>	<b>△4,123</b>	<b>3,335</b>
営業外収益	71	70
営業外費用	30	55
<b>経常利益又は経常損失 (△)</b>	<b>△4,081</b>	<b>3,350</b>
特別利益	6	10
特別損失	1,039	101
<b>税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失 (△)</b>	<b>△5,115</b>	<b>3,258</b>
法人税等	△410	1,391
<b>少数株主損益調整前当期純利益又は少数株主損益調整前当期純損失 (△)</b>	<b>△4,705</b>	<b>1,867</b>
少数株主利益	2	3
<b>当期純利益又は当期純損失 (△)</b>	<b>△4,707</b>	<b>1,863</b>

### 【連結損益計算書のポイント】

流通サービスシステム事業の新規顧客向けシステム開発およびHULFT製品販売が堅調に推移したものの、金融システム事業の既存顧客向けシステム開発が減少したことにより売上高が減少しました。また主に金融システム事業の大型システム開発案件における製品保証対応コストを原価計上したことにより営業損失の計上となりました。BPO事業における一部事業用資産の減損処理（特別損失計上）も行っております。

### 【連結キャッシュ・フロー計算書のポイント】

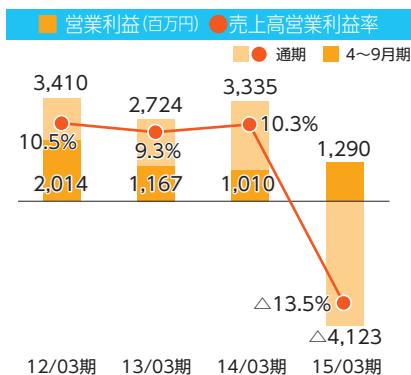
税金等調整前当期純損失の計上、サーバー・通信機器およびソフトウェア等への投資等により、当期末の現金及び現金同等物は7,634百万円となりました。

※2015年3月期より売上計上基準を変更しており、2014年3月期実績については遡及処理後の数値を記載しています。

## 財務ハイライト

(単位：百万円)

	第41期 2010年3月期	第42期 2011年3月期	第43期 2012年3月期	第44期 2013年3月期	第45期 2014年3月期	第46期 2015年3月期
<b>連結経営成績</b>						
売上高	26,127	27,984	32,604	29,290	32,500	30,485
営業利益又は営業損失 (△)	2,489	2,957	3,410	2,724	3,335	△4,123
営業利益率 (%)	9.5	10.6	10.5	9.3	10.3	△13.5
経常利益又は経常損失 (△)	2,524	2,930	3,450	2,736	3,350	△4,081
経常利益率 (%)	9.7	10.5	10.6	9.3	10.3	△13.4
当期純利益又は当期純損失 (△)	997	1,476	1,743	1,674	1,863	△4,707
当期純利益率 (%)	3.8	5.3	5.3	5.7	5.7	△15.4
1株当たり当期純利益 又は当期純損失 (△) (円)	61.57	90.69	107.64	103.39	115.05	△290.60
<b>連結財政状態</b>						
総資産	19,965	23,132	26,506	25,066	26,595	25,638
純資産	13,194	14,020	14,961	16,160	16,582	11,299
流動比率 (%)	276.2	205.4	171.8	206.5	214.2	125.4
自己資本比率 (%)	66.1	60.6	56.4	64.5	62.3	44.0
1株当たり純資産 (円)	814.46	865.48	923.56	994.34	1,022.58	696.70
<b>その他指標</b>						
1株当たり配当金 (円)	40.00	40.00	35.00	35.00	35.00	10.00
配当性向 (%)	65.0	44.1	32.5	33.9	30.4	—
ROE (%)	7.7	10.9	12.0	10.8	11.4	△33.9
ROA (%)	12.7	13.6	13.9	10.6	13.0	△15.6



## ▶ 事業紹介

セゾン情報システムズは  
私たちの暮らしを支える  
事業を展開しています



### カードシステム事業

クレジットカードに関わる情報システム構築から運用管理までを一貫して行っています。長年にわたり培ってきた業務知識やIT技術に関するナレッジを活用するとともに、技術力・開発力を高め、みなさまの日常生活に大きく関わるクレジットカードの安定したシステムを提供してまいります。

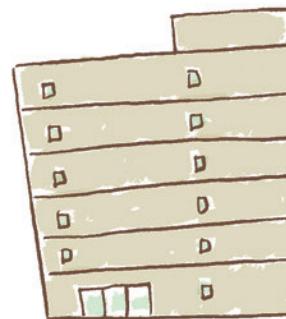
### エンタープライズ・ソリューション事業

流通・サービス業界と金融業界を中心に多種多様なお客様に対し、それぞれのご要望を満たすシステムの構築とソリューションおよび、ホスティングサービスを提供しています。百貨店やスーパーマーケット、コンビニエンスストア等に並ぶ膨大な商品の管理をはじめ、受発注、物流倉庫管理、要員の配置等多岐に渡っておお客様のビジネス拡大に貢献してまいります。

当社が展開している4つの事業(カードシステム、エンタープライズ・ソリューション、BPO、HULFT)は時代の潮流に合わせたサービスを展開しています。ここでは、その一例をご紹介します。



### データ



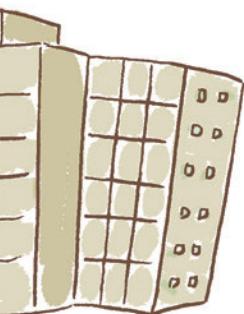
お客様の業務に必要なデータをお預かりし、運用管理等のサービス提供を通じてお客様の負荷を削減しています。

より詳細な事業内容は、当社ウェブサイトに掲載しております。是非ご覧下さい。  
右のQRコードもしくは以下のURLからアクセスいただけます。

<http://home.saison.co.jp/ir/privateinvestor/index.html>



センター



## BPO事業

給与計算、勤怠管理等人事部門の業務を代行するアウトソーシング／ASPサービス「Bulas（ビューラス）\*」を提供しています。加えて、携帯電話やスマートフォンから給与明細を確認できるサービスやインターネット経由で勤怠を申請できるサービスも展開しています。

\*P.13の用語解説をご覧ください。



## HULFT事業

当社の自社開発パッケージ製品「HULFT（ハルフト）」が私たちの社会を行き交う無数のデータを、安全かつ迅速につなぐ役割を担っています（国内シェア第1位\*<sup>1</sup>、世界シェア第4位\*<sup>2</sup>）。ASEAN地域への本格展開を目的としてシンガポールに「HULFT Pte. Ltd.」を設立し、この4月より本格営業を開始しています。国内および海外の様々なファイル転送ニーズにマッチする基盤の提供に取り組んでいきます。

\*1 富士キメラ総研調べ

\*2 IDC調べ

## ▶株主スクエア

第46期上半期報告書送付の際に実施いたしました「株主様アンケート」にて、多くの株主様からご回答をいただきました。厚くお礼申し上げます。ここではアンケートの結果（抜粋）をご報告するとともに、特に多くいただいたご質問・ご要望をご紹介します。

**アンケート調査結果**（回答数……4,809件 回答率……77.7%）

### 当社株式保有期間について

	第45期上期	第46期上期
1年未満	39.3%	22.2%
1～2年未満	38.0%	41.9%
2年以上	22.0%	34.6%



中長期間で保有していただいている株主様が増えてきております。

今後も当社の魅力をわかりやすくお伝えできる情報発信に努めてまいります。

### Q. ECM マスター ファンド SPV 1からの株式公開買付け（TOB）について教えてください。

ECM マスター ファンド SPV 1\*により、2015年2月10日から当社株式に対する公開買付け（TOB）が開始されました。

当社は大規模買付ルール（買収防衛策）に従い、特別委員会による答申を最大限尊重し、当社取締役会としての最終的な意見として、2015年3月5日に同公開買付けに対する反対の意見を決議し表明しました。

しかしながら、同公開買付けは成立し、買付期間終了日である同年3月24日をもって、ECM マスター ファンド SPV 1と、エフィッシモ キャピタル マネージメント ピーティーイー エルティーディーの当社持株比率が33.0%になりました。

これに対して、当社は持株比率が28.0%未満になるまで売却することを申し入れています。

\*ECM マスター ファンド SPV 1は当社の株券等を取得すること及び保有すること等を主な事業内容とした会社で、エフィッシモ キャピタル マネージメント ピーティーイー エルティーディーと投資一任契約を締結しています。

Q. 今後どのような事業計画や成長戦略を描いていくのか、これからどのように業績を伸ばしていくのか、知りたいです。

第46期の振り返りと第47期の経営方針についてはトップインタビュー内にて掲載しておりますのでご覧ください。第47期はスローガンとして『変革・実行・成長』を掲げ、業績達成にむけて仕組み・人材・組織の面から取り組んでまいります。



Q. 今期の事業内容を教えてください。

第47期は「カードシステム事業」「エンタープライズ・ソリューション事業」「BPO事業」「HULFT事業」の4つの事業を展開していきます。  
各事業内容についての事業紹介をご覧ください (P.9-P.10)。



Q. 用語集はわかりやすく、報告書内容を理解するために有効なので継続して欲しい。

報告書内に当社もしくは業界特有の単語があった時に参照できるよう、用語解説を一カ所に集約しましたので、ぜひご覧ください (P.13)。  
用語集については多くの株主様から継続のご要望をいただいております。今後も業界特有の単語や当社のビジネスに関する単語の説明を継続してまいります。



「株主様アンケート」にて、多くの株主様からご回答をいただき、その内容をもとに事業報告内容の検討やIR活動を進めてまいりました。厚くお礼申し上げます。

株主のみならずみなさまからの貴重なご意見を今後も事業報告書の紙面づくりやIR活動の参考にさせていただきたく、同封の株主様アンケートへのご記入、ご返送をよろしくお願い申し上げます。

尚、これまで、ご回答いただいた株主様にはQuoカード500円分を進呈（単元未満株式をお持ちの株主様は抽選）いたしておりましたが、**昨今の業績等をふまえて、勝手ながらQuoカードの進呈は廃止とさせていただきます。**何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。

## よく用いられる用語集

### クラウド

インターネットを介したコンピューターの利用形態のひとつです。利用者自身でソフトウェアやハードウェアを保有・管理する必要がなく、インターネットへの接続環境さえ整っていれば活用できるのが特徴です。

### ビッグデータ

従来のシステム等では記録や保管、解析が難しいような巨大なデータ群のことです。今まで見過ごされてきたデータ群を解析等することで、ビジネスや社会に有用な知見を産み出す可能性が高まるとされています。

### モバイル

携帯電話やスマートフォン等の携行可能な通信機器のことを指します。外出先等いつでもどこでも自由にインターネットに接続することができ、現在では、ビジネス、プライベート問わずあらゆるシーンで利用されています。

### ソーシャルメディア

利用者の発信した情報や利用者間のつながりによってコンテンツを作り出す要素を持ったWebサイトやネットサービスなどを総称する用語です。ブログやツイッター等がこれにあたります。

### BPO (ビーピーオー)

Business Process Outsourcingの略で、企業が自社の業務処理を外部に委託することを指します。当社では人事業務にかかわる業務を受託しています。

### Bulas (ビューラス)

BPO事業で提供している、給与計算や勤怠管理のサービスです。

### Bulas Payslip Mobile (ビューラスペイスリップモバイル)

BPO事業で提供している、インターネット経由で給与明細を社員に配信するサービスです。

### STORES (ストアーズ)

当社で提供している、流通小売業の経営課題を必要最小限の投資により最大効果で解決する、小売チェーン向け統合ソリューションサービスです。

### HULFT (ハルフト)

システム間でデータをやり取りする際のファイル転送を実行するパッケージ製品です。WindowsやUNIX (ユニックス)といった、異なるプラットフォーム間でもデータのやり取りを可能にしています。

### SAISOS (サイソス)

当社が提供するクラウド型ホスティングサービスです。お客様のデータ等を当社でお預かりし、お客様は自前の設備を持つことなく、サービスを提供することができます。

### ストックビジネス

契約に基づき固定的かつ定期的に収益が得られるビジネスのことです。これに対し、システム構築や機器販売など一時的な収益を得るものは「フロービジネス」とされます。当社では、自社データセンターを活用した運用サービスやHULFT製品の保守サービス、SAISOS(サイソス)、給与計算代行サービスなどがストックビジネスにあたります。

### 株式の状況

発行可能株式総数 60,000,000株  
 発行済株式の総数 16,200,000株  
 株主数 6,107名

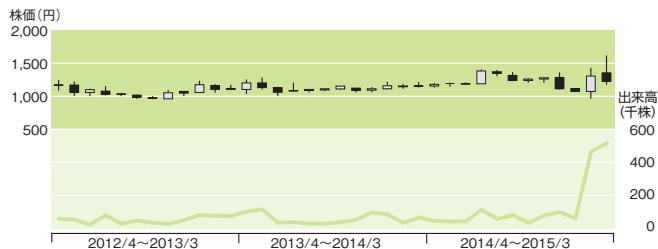
### 大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社クレディセゾン	7,588	46.84
ロイヤルバンクオブカナダ トラストカンパニー(ケイマン)リミテッド	4,488	27.71
イーシーエムマスターファンド エスピーブイワン	857	5.29
セゾン情報システムズ社員持株会	570	3.52
株式会社インテリジェントウェイブ	500	3.09
大日本印刷株式会社	307	1.90
株式会社みずほ銀行	196	1.21
協和青果株式会社	171	1.06
株式会社三菱東京UFJ銀行	80	0.49
富士通株式会社	80	0.49

### 今後のIRスケジュール(予定)



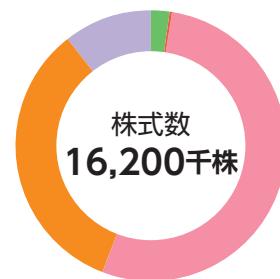
### 株価・売買高の推移



### 所有者別分布状況

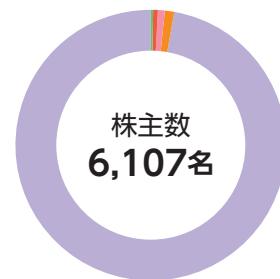
#### 株式分布状況

株主	%
金融機関	2.35
証券会社	0.13
その他の国内法人	53.59
外国法人等	33.39
個人その他	10.53



#### 株主分布状況

株主	%
金融機関	0.15
証券会社	0.29
その他の国内法人	0.59
外国法人等	0.72
個人その他	98.23



## ■ 会社概要

商 号 株式会社セゾン情報システムズ  
 SAISON INFORMATION SYSTEMS CO.,LTD.  
 設立年月日 1970年9月1日  
 資 本 金 13億6,768万7,500円  
 従 業 員 数 1,273名(連結)、774名(個別)  
 本店所在地 東京都豊島区東池袋三丁目1番1号  
 TEL:03(3988)2020(代表)

## ■ 役員構成

代表取締役会長	横	山	三	雄
代表取締役社長	宮	野		隆
取 締 役	野	津	浩	生
取 締 役	赤	木		修
取 締 役	土	橋	眞	吾
取 締 役	水	江	司	二
取 締 役	内	田	和	弘
取締役(非常勤)	安	達	一	彦*
取締役(非常勤)	川	野	忠	明*
監 査 役	菅	崎		悟
監 査 役	北	條	慎	治*
監査役(非常勤)	石	井	泰	次*
監査役(非常勤)	小	川	憲	久*

\* 社外取締役、社外監査役

## ■ 関係会社の状況

株式会社フェス	資本金 : 6,000万円 出資比率 : 100% 事業内容 : 情報処理サービス
世存信息技术(上海)有限公司	資本金 : 1億円 出資比率 : 100% 事業内容 : ソフトウェア開発 パッケージ販売
株式会社アプレッソ	資本金 : 2億6,700万円 出資比率 : 98.42% 事業内容 : ソフトウェアパッケージ の開発、販売、サポート
HULFT Pte. Ltd.	資本金 : 100万シンガポールドル 出資比率 : 100% 事業内容 : ソフトウェアパッケージ の販売促進

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 3月31日から3ヶ月以内  
 配当金受領株主確定日 3月31日及び中間配当を行う場合は  
 9月30日  
 単 元 株 式 数 100株  
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号  
 同事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社  
 〔郵便物送付先〕 〒168-8507  
 〔電話照会先〕 東京都杉並区泉東二丁目8番4号  
 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部  
 TEL : 0120-288-324 (フリーダイヤル)